

故事成語をみんなに紹介しよう！

教材：「故事成語」(「現代の国語1」三省堂 他)

「故事成語」の学習では、教科書で、「矛盾」、「推敲」、「蛇足」等を中心に学習し、他の故事成語については、ワークシートで紹介したり、資料集やタブレットで調べさせたりすることが多いのではないのでしょうか。

そこで、調べた故事成語の中からみんなに伝えたい故事成語を選び、はがき新聞にまとめ、交流させることで、多くの故事成語に触れさせます。



指導のねらい

学びを広げよう 故事成語の学習では、「古典の文章を繰り返し音読し、漢文の独特のリズムに、生徒自らが気付くことを重視する」とともに、多くの故事成語に触れさせることで、古くから親しまれている言葉があることを知り、日常生活の中でも使えるようにさせたい。しかし、授業時数が限られている中で、指導事項を踏まえて「矛盾」を音読し、故事の内容や現代の意味の学習をすると、どうしても他の故事成語に触れる時間が少なくなってしまう。そこで、はがき新聞を使って交流させることで、多くの故事成語に触れさせたいと考えます。



評価の例

- ・古文や漢文を音読し、古典特有リズムを通して古典の世界に親しんでいる。(知識・技能(3)ア)
- ・「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。(思考・判断・表現B(1)イ)

A・・・現代の意味にとどまらず活用の仕方を書いていたたり、故事の内容を分かりやすく伝えるために図表を効果的に使ったりしている。

B・・・紹介する故事成語の故事と現代の意味について、段落を分けて分かりやすく書いている。

- ・進んで文章の構成や展開を考え、今までの学習を生かして故事成語を紹介しようとしている。

(主体的に学習に取り組む態度)



時間配分
(目安)

- ① 導入 (課題の説明) 5分
- ② はがき新聞の作り方説明 5分
- ③ はがき新聞の制作 30分
- ④ 振り返り・交流 10分

学びを広げるポイント

- 作品はミテミテ (理想教育財団助成品) に入れて展示する。友達作品を読むことで、他の故事成語について触れさせたい。言葉ポケット等を活用して、一番気に入った故事成語を記録させるのもいい。

故事成語をみんなに紹介しよう！

故事成語は、教科書で学んだ「矛盾」の他にも、

「推敲」、「蛇足」などたくさんあります。

資料集やタブレット等を使って、他の故事成語を調べ、みんなに伝えたい故事成語を決めて、はがき新聞にまとめてみましょう。

完成したはがき新聞をみんなで見せ合い、

たくさんの故事成語に触れましょう！



教材：「故事成語」(「現代の国語1」三省堂 他)

学びを広げよう 故事成語は、昔の出来事（中国での出来事が圧倒的に多いです！）をもとにしてできた言葉のことを言いますが、今の時代にも使われているって、歴史を感じませんか。皆さんにも日常生活の中でぜひ使ってほしいです。そのためには、たくさんの故事成語に触れることが大切です。友だちのはがき新聞を読んで、昔の出来事をイメージしながら、現在使われている意味になった理由を考えてみてください。

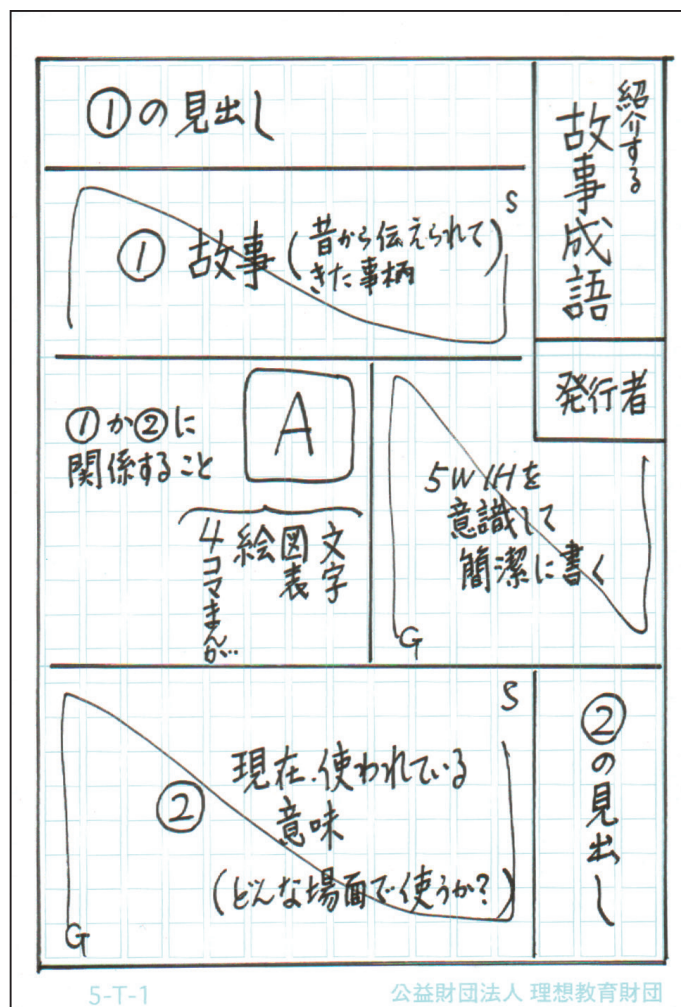
きっと日常生活でも使えるようになりますよ！

準備するもの

鉛筆(下書き用)、消しゴム、ペン(黒色)、色鉛筆、定規など

はがき新聞の作り方

- レイアウトの例を参考にして、新聞の大まかなレイアウトを決めましょう。
- 定規を使って、枠などの線を引きましょう。
- 発行者の欄に名前を書きましょう。(名前は横書きです)
- 新聞のタイトルは、みんなに紹介する故事成語を書きましょう。



→次のページに続きます。

.....
5 記事は次の①②です。

① 選んだ故事成語の故事

② 現代で使われる意味
.....

6 Aの部分は①②に関連するものを書きましょう。(絵でも図・グラフ、文字でも構いません)
.....

7 ①は、「5W1H」を意識して書きましょう。(一文が長いと伝わりにくくなります)
.....

8 ②は、どのような場面で使われるかについても書いてみましょう。
.....

9 「見出し」は紹介する故事成語のことが伝わる表現(10字程度)にしましょう。
.....

10 文章や絵が書けたら、色鉛筆で色を塗って完成させましょう。
.....